

令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・習熟度別指導を展開し、児童の習熟に合わせて既習事項を確認したり、タブレットドリル等で繰り返し復習したりしたことで、理解が深まり割合や単位量あたりの大きさの定着が向上した。
- ・電子黒板やデジタル教科書などのICT機器を活用し、視覚的に授業を行ったことで、用具の操作方法を理解することができた。
- ・自分の考えを図や表などを用いて表現する活動を多く取り入れたことで、学習内容が深まり、口を使った式や記述式問題ができた。

(2) 課題

- ・四則計算、分数など、数と計算のしくみに課題がある。
- ・作図や角の大きさなど、図形分野に課題がある。
- ・測ったり比べたりする経験を増やしたが、身の回りのものの量感を意識することが難しい。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	△	/	/
第5学年	△	△ (第4学年時)	/
第6学年	△	△ (第5学年時)	△ (第4学年時)

(2) 分析(観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると大きく上回っている。	・目標値と比較すると大きく上回っている。	・目標値と比較すると上回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると大きく上回っている。	・目標値と比較すると大きく上回っている。	・目標値と比較すると大きく上回っている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1)低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 足し算や引き算や九九など、計算の基礎を確かなものにするために、ステップ学習や計算ドリルを活用する。 ・ 身の回りにあるものの長さ、広さ、かさについて具体的な操作活動を増やすことで、長さや量の感覚を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数のまとまりや、数量の関係に着目し、計算の仕方を工夫したり計算の確かめをしたりする。 ・ 自分の考えを深めたり、教わったことの理解を確かなものにしたりするために、児童同士の話し合い活動や発表の場を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童にとって身近なものを使って、長さやかさを体感できるような数学的活動を行う。 ・ 苦手意識をもたないように、学習活動で達成感を得られるように、スモールステップ学習を行う。

(2)中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 九九やわり算などの計算力を高めるために、効果的な反復学習を行う。 ・ 長さ、広さ、角の大きさについて具体的な操作活動を増やすことで、用具の操作の方法を確かめたり、長さや量の感覚を豊かにしたりする。 ・ ステップ学習を活用し、児童・教員・保護者が学習状況を把握し、放課後補習教室等、確実に技能が定着するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算の確かめをしたりする。 ・ 図形を構成する要素に着目して、図形の性質を見出し、身の回りのものの形を図形として捉える。 ・ 意見を交流し合うことから自分の考えを深められるように、児童同士の話し合い活動や発表の場を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童にとって身近なものを教材にし、長さやかさを体感できるような算数的活動を行う。 ・ 意欲をもって自分の考えを発表できるように、ペア、グループでの活動など、友達と関わりながら学習を進める時間を多く取り入れる。

(3)高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分数の通分や約分などの計算力を高めるために、効果的な反復学習を行う。 ・ 用具を使って問題に取り組む時間を確保し、図形の基礎を養う。 ・ ステップ学習を活用し、児童・教員・保護者が学習状況を把握し、放課後補習教室での学習の積み重ね等、確実に技能が定着するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に考えられるようにする。 ・ 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて作図や面積などの求め方を考える。 ・ 自分の考えをペアやグループで互いに説明する活動を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を生活に生かせるようにするために、身近に感じられる教材を準備したり、数学的活動を取り入れ実際に計測したり、体験したりする場を作る。 ・ 意欲的に学習に取り組めるように、生活との関連や教科横断的な視点を取り入れ、課題の設定の仕方を工夫する。

